

【様式①】令和5年度 学校評価書(小・中・特別支援)

学校名 岐阜市立岐阜小学校

校長名 藤田 忠久

市の重点項目	学校の重点項目	自己評価	達成状況	学校関係者評価委員会から	改善の方向
希望あふれる未来を自ら拓く力を育むための教育課程の編成	<ul style="list-style-type: none"> ・「共創を楽しむ」をテーマに掲げ、「進んで学ぶ」「自ら楽しむ」意識改革を進める。 ・体験重視の確かな実践、生き方探求学習、教育DX推進、ロイロノートの有効活用、単元内自由進度学習等により、「主体的・対話的で深い学び」が展開できるよう「授業改革」を行う。 	A	<ul style="list-style-type: none"> ・「言われてやる」のではなく、「考えて動く」姿を引き出せるような教育活動を展開した。一人一人がアウトプットする機会を様々な場面で設定したことで、それぞれが課題意識をもって自ら学びを進める姿が見られた。 ・ロイロノートを活用するようになり、学級内全児童の意見が一覧で共有できるようになった。他者の意見と比べたり、ヒントにしたりしながら考えを深める様子が見られた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・マスクを外し、先生や子供たちの顔がよく見えるようになった。表情豊かに生き生きと様々な活動に取り組む姿が見られる。 ・豊かな体験活動、ICTを使った学習など、多様な学習活動が展開されている。子供たちは、タブレットを活用しながら主体的に学習を進めている。 ・家庭学習の考え方が大切である。自分の興味関心や課題に応じた、自分なりの探求をどんどん進めてほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学校全体で育成を目指す資質・能力を明確にする。 ・学びの多様化、個別最適化について、具現の方向を探っていく。 ・ICTを活用した主体的かつ協働的な学びを推進する。
コミュニティ・スクールの機能の充実と岐阜市型小中一貫教育の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者サポーター、地域の人材を積極的に活用し、教育活動の充実を図る。 ・CS機能を生かした「ふるさと学習」を、岐阜市の「ぎふMIRAI's」をリードする「ふるさと共創教育」として発展させる。 	A	<ul style="list-style-type: none"> ・様々な教育活動や校外学習で地域の方や保護者サポーターやにお世話になった。多くの大人に見守られ、安心して安全に教育活動を進めることができた。 ・CS機能を生かし、地域の協力を得て体験重視の「ふるさと学習」を積極的に進めることができた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者サポーターやコミュニティ・ティーチャーだけではなく、地域の人が気軽に学校の中に入れるとよい。日常的に見守られ触れ合うことも、「ふるさと学習」である。 ・中学生が小学校の活動のボランティアとして参加できる機会があるとよい。また中学校卒業後も地域と繋がりを続けてほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・校外学習やミシン学習などの特別な活動場面だけではなく、日常的に保護者や地域の方に見守っていただけるようにしたい。 ・小中の職員が情報交流する機会を積極的にもち、連携して児童生徒を育てていく。また、児童生徒がつながる機会をもてるようにする。今年度実施した幼小連携を継続していく。
あたたかさや働きがいにあふれる学校づくり	<ul style="list-style-type: none"> ・「誉めて伸ばす」スタンスを全職員で共通理解と共通行動する。 ・「ありがとう・おかげさま・おたがいさま」を大切に、それぞれ声を掛け合いフットワーク軽くことで、気持ちよく働くことができる学校を目指す。 	A	<ul style="list-style-type: none"> ・「誉めて伸ばす」スタンスを全職員で共有し、「できていること」「できるようになったこと」を誉めて認めるように努めた。また、児童の心情に寄り添い、あたたかな関わりを心がけている。 ・職員間において、互いの様子や状況に心を配り、声を掛け合いフットワーク軽く動くことで、気持ちよく働くことができた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・子供たち一人一人の心情に寄り添った指導をしてもらっている。 ・大人の方から子供に積極的に関わり、子供との距離を縮めていくことが大切。挨拶もどンドン大人から行き、子供たちが安心して返せるとよい。 ・先生たちの関係性のよさが伝わる。先生がなかよく元気だと、子供にもよい影響がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・児童にとっても、また保護者にとっても職員にとってもあたたかさや安心感のある学校でありたい。 ・職員、保護者、地域の方、それぞれの立場を尊重し合い、「ありがとう・おかげさま・おたがいさま」を大切にしていこう。
災害、事故、感染症、生徒指導事案等に対する安全性の確保	<ul style="list-style-type: none"> ・計画的かつ実態に即した命を守る訓練の実施や交通事故、不審者などについて随時指導をする。 ・生徒指導事案の未然防止に努めるとともに、事案発生時には組織的に迅速に対応する。 	A	<ul style="list-style-type: none"> ・命を守る訓練について、予告の有無を含めて様々なパターンで行い、状況や場面に応じた避難の仕方考えることができた。 ・複数教師による多面的な児童理解により一人一人を大切にする指導を心がけるとともに、生徒指導事案には迅速に情報共有を図って組織的に対応した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・小学校で実施されている命を守る訓練の有効性を感じる。地域ぐるみで防災訓練を行っていきたい。 ・登下校の状況は、心配である。交通安全指導と日常の見届けが必要である。 ・生徒指導事案は、学校外で起きていることも多い。地域の見守り体制に期待したい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・命を守る訓練を始め、様々な場面で防災や減災について意識を高められるよう、指導を積み重ねていく。 ・健康で安全な生活について、様々な場で指導を重ねていく。 ・全職員で全校児童を育てる姿勢で、情報共有、対応にあたる。
教育環境と学校財務環境の整備及び効果的な活用	<ul style="list-style-type: none"> ・全職員による日常的な教育環境の整備、安全管理、財務管理に努めると共に、毎月の点検を確実に実施する。 ・CS機能を生かして多様な意見を吸い上げ、改善すべき点について迅速に対応する。 	A	<ul style="list-style-type: none"> ・校舎内外の不要物を廃棄し、保管場所の見直しや整備、整理整頓を行った。劣化している箇所について、大規模修繕を行った。毎月の安全点検、日常の財務管理についても確実に実施している。 ・児童の状況や教育活動、地域のニーズに合わせて教室配置を見直し、校内環境の活用を努めた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・環境整備、安全管理に努められている。また、財務管理も適切に行われている。 ・フリールールの設置、屋上スペースやメディアルームの活用など、校内環境が効果的に活用されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今後も、全職員による日常的な教育環境の整備、安全管理、財務管理に努める。 ・今後も、CS機能を生かして多様な意見を吸い上げ、改善すべき点について迅速な対応に努める。